

# 令和2年第9回富山県教育委員会議事日程

8月27日（木）午後1時00分  
高志の国文学館 研修室101号室

## 1 会議録の承認について

令和2年6月29日開催の令和2年第7回富山県教育委員会会議録の承認について  
令和2年7月13日開催の令和2年第8回富山県教育委員会会議録の承認について

## 2 報告事項

- (1) 令和2年度中学校第3学年および義務教育学校第9学年生徒、県立高等学校全日制課程第3学年生徒の進路希望調査結果について
- (2) 第1回富山県幼児教育推進連絡協議会について

## 3 その他

今後の教育委員会等の日程について



# 令和2年度中学校第3学年および義務教育学校第9学年生徒の進路希望調査結果 —令和2年5月1日現在—

令和2年8月27日  
県立学校課

令和3年3月に県内の国立(1校)・公立(75校1分校)・私立(1校)中学校および義務教育学校(2校)を卒業する予定の生徒について、令和2年5月1日現在における進路希望状況を調査した結果は、次のとおりである。

## 1 卒業予定者数及び進路希望状況

- 卒業予定者は9,037人で、前年同期と比べ268人減少。
- 進学希望者の割合は98.5%で、前年同期と比べ0.4ポイント低下。
  - ・ 令和3年3月の卒業予定者は9,037人(男4,718人・女4,319人)で、前年同期と比べ268人減少(男9人減少・女259人減少)している。
  - ・ 進学希望者は8,905人(男4,645人・女4,260人)で、前年同期と比べ301人減少(男36人減少・女265人減少)している。進学希望者の卒業予定者に対する割合は98.5%で、前年同期と比べ0.4ポイント低下している。
  - ・ 専修学校等希望者は7人(男2人・女5人)で、前年同期と比べ1人増加している。
  - ・ 就職希望者(進学希望者及び専修学校等希望者の内の就職希望者を含む)は15人(男7人・女8人)で、前年同期と比べ6人増加している。就職希望者の卒業予定者に対する割合は0.2%で、前年同期と比べ0.1ポイント上昇している。

<第1表> 進路希望状況

年度	実 数 (人)						割 合 (%)		
	卒 業 予定者 a	進 学 希望者 b	専 修 学校等 希望者 c	就 職 希望者 d	未 定 者 e	(再掲) bcの内 就 職 希望者 f	進 学 希望率 b/a	専 修 学校等 希望率 c/a	就 職 希望率 (d+f)/a
H28	10,116	10,003	4	20	89	1	98.9	0.0	0.2
H29	9,659	9,556	2	11	90	2	98.9	0.0	0.1
H30	9,552	9,427	10	25	90	1	98.7	0.1	0.3
R1	9,305	9,206	6	9	84	0	98.9	0.1	0.1
R2	9,037	8,905	7	14	111	1	98.5	0.1	0.2

## 2 進学先別希望状況

- 県内県立高等学校全日制課程を希望する者の割合は85.1%で、前年同期と比べ0.5ポイント低下。
  - ・ 県内県立高等学校全日制課程を希望する者は7,690人(男3,890人・女3,800人)で、前年同期と比べ272人減少している。卒業予定者に対する割合は85.1%で、前年同期と比べ0.5ポイント低下している。

<第2表> 進学先別希望状況

単位：上段は% 下段は人

年度	区分	卒業予定者数	進学希望者数	全日制課程		定時制課程	通信制課程	高等専門学校	特別支援学校
				全 体	内 県内 県立高校				
H28	割合	100.0	98.9	93.1	87.9	1.8	0.1	3.3	0.6
	実数	10,116	10,003	9,417	8,890	178	10	337	61
H29	割合	100.0	98.9	93.5	88.4	1.7	0.1	3.0	0.6
	実数	9,659	9,556	9,029	8,542	169	13	287	58
H30	割合	100.0	98.7	92.6	87.1	2.0	0.2	3.1	0.8
	実数	9,552	9,427	8,846	8,316	189	23	297	72
R1	割合	100.0	98.9	92.4	85.6	2.3	0.4	3.3	0.5
	実数	9,305	9,206	8,601	7,962	215	38	304	48
R2	割合	100.0	98.5	91.8	85.1	2.2	0.4	3.2	0.9
	実数	9,037	8,905	8,293	7,690	203	40	291	78

(注) 上段は各進学先別希望者数の卒業予定者数に対する割合である。なお、端数処理のため、各割合を合計しても100.0%にならない場合がある。

### 3 全日制高校への学科等区別希望状況

○ 県内県立高等学校全日制課程の普通系学科（普通科、探究科学科、国際科）希望者の割合は65.7%で、前年同期と比べ0.3ポイント上昇。職業系専門学科希望者の割合は27.2%で0.4ポイント低下。総合学科は7.1%で0.2ポイント上昇。

- ・ 県内県立高等学校全日制課程への進学希望者の学科等区別希望状況は、普通科が60.0%と最も多く、次いで工業科13.4%、商業科8.5%、総合学科7.1%、となっている。なお、前年同期と比べ希望者の割合が上昇している学科は、探究科学科(0.2ポイント)、国際科(0.1ポイント)、水産科(0.1ポイント)、福祉科(0.3ポイント)、総合学科(0.2ポイント)である。

<第3表> 全日制高校への学科等区別希望状況

単位：上段は% 下段は人

年度	区分	合計	普通系学科			職業系専門学科							総合学科	その他			
			普通科	探究科学科	国際科	計	農業科	水産科	工業科	商業科	家庭科	看護科	福祉科				
※全 体	R1	割合	100.0	62.1	4.2	0.9	67.2	1.7	0.4	13.1	7.9	1.7	0.9	0.4	26.1	6.5	0.2
		人数	8,601	5,344	361	76	5,781	144	38	1,125	681	146	78	32	2,244	561	15
	R2	割合	100.0	62.0	4.4	1.0	67.4	1.5	0.6	12.8	7.9	1.7	0.8	0.6	25.8	6.6	0.2
		人数	8,293	5,143	361	82	5,586	121	49	1,058	654	142	63	52	2,139	550	18
内 県 内 県 立 高 校	R1	割合	100.0	60.0	4.5	0.9	65.4	1.8	0.5	13.8	8.5	1.7	1.0	0.4	27.6	6.9	
		人数	7,962	4,781	359	71	5,211	143	37	1,097	679	132	78	32	2,198	553	
	R2	割合	100.0	60.0	4.7	1.0	65.7	1.6	0.6	13.4	8.5	1.6	0.8	0.7	27.2	7.1	
		人数	7,690	4,617	358	79	5,054	121	49	1,029	654	125	63	51	2,092	544	

※ 私立高校・県外高校を含む。

(注) 上段は各学科等区別希望者数の合計に対する割合である。なお、端数処理のため、各割合を合計しても100.0%にならない場合がある。

# 令和2年度県立高等学校全日制課程第3学年生徒の進路希望調査結果

— 令和2年5月1日現在 —

令和2年8月27日  
県立学校課

令和3年3月に県立高等学校全日制課程(37校1分校)を卒業する予定の生徒について、令和2年5月1日現在における進路希望状況を調査した結果は、次のとおりである。

## 1 卒業予定者数及び進路希望状況

- 卒業予定者は、6,567人で、前年同期と比べ431人減少。
- 進学希望者の割合は66.7%で、前年同期と比べ0.5ポイント低下。
  - ・ 令和3年3月の卒業予定者は6,567人(男3,254人・女3,313人)で、前年同期と比べ431人減少(男120人減少、女311人減少)している。
  - ・ 進学希望者は4,379人(男2,075人・女2,304人)で、前年同期と比べ327人減少している。進学希望者の卒業予定者に対する割合は66.7%で、前年同期と比べ0.5ポイント低下している。
  - ・ 専修学校等希望者は865人(男295人・女570人)で、前年同期と比べ76人減少している。専修学校等希望者の卒業予定者に対する割合は13.2%で、前年同期と比べ0.2ポイント低下している。
  - ・ 就職希望者(進学希望者及び専修学校等希望者の内の就職希望者を含む)は1,284人(男863人・女421人)で、前年同期と比べ40人減少している。就職希望者の卒業予定者に対する割合は19.6%で、前年同期と比べ0.7ポイント上昇している。

<第1表> 進路希望状況

年度	実 数 (人)						割 合 (%)		
	卒 業 予定者 a	進 学 希 望 者 b	専 修 学 校 等 希 望 者 c	就 職 希 望 者 d	未 定 者 e	(再掲) bcの内 就 職 希 望 者 f	進 学 希 望 率 b/a	専 修 学 校 等 希 望 率 c/a	就 職 希 望 率 (d+f)/a
H28	6,979	4,795	900	1,271	13	2	68.7	12.9	18.2
H29	7,047	4,775	954	1,296	22	4	67.8	13.5	18.4
H30	6,991	4,740	937	1,293	21	0	67.8	13.4	18.5
R1	6,998	4,706	941	1,319	32	5	67.2	13.4	18.9
R2	6,567	4,379	865	1,284	39	0	66.7	13.2	19.6

## 2 進学先別希望状況

- 卒業予定者に対する大学進学希望者の割合は61.0%で、前年同期と比べ0.6ポイント低下。
  - ・ 卒業予定者に対する大学進学希望者の割合は61.0%(対前年同期比0.6ポイント低下)、短大進学希望者の割合は5.1%(対前年同期と同じ)となっている。
  - ・ 進学希望者に対する大学進学希望者の割合は91.4%(対前年同期比0.2ポイント低下)、短大進学希望者の割合は7.7%(対前年同期比0.2ポイント上昇)となっている。

<第2表> 進学先別希望状況

年度	実数(人)					卒業予定者に対する割合(%)				進学希望者に対する割合(%)			
	卒業 予定 者	進学 希望 者	内訳			進学 希望 者	内訳			進学 希望 者	内訳		
			大学	短大	その他		大学	短大	その他		大学	短大	その他
H28	6,979	4,795	4,347	407	41	68.7	62.3	5.8	0.6	100.0	90.7	8.5	0.9
H29	7,047	4,775	4,364	372	39	67.8	61.9	5.3	0.6	100.0	91.4	7.8	0.8
H30	6,991	4,740	4,332	368	40	67.8	62.0	5.3	0.6	100.0	91.4	7.8	0.8
R1	6,998	4,706	4,311	354	41	67.2	61.6	5.1	0.6	100.0	91.6	7.5	0.9
R2	6,567	4,379	4,004	335	40	66.7	61.0	5.1	0.6	100.0	91.4	7.7	0.9

(注) ・「その他」は、大学・短大の別科及び通信教育部、高等学校専攻科である。

・卒業予定者数及び進学希望者数に対する割合は、端数処理のため、各割合を合計しても100.0%にならない場合がある。

### 3 男女別進路希望状況

進路希望状況を男女別にみると下図のようになる。( )は前年度の値。

〈全体〉 卒業予定者 6,567人 (6,998人)

進学 <sup>*1</sup>	専修学校等 <sup>*2</sup>	就職 <sup>*3</sup>
4,379人 66.7% (4,706人) (67.2%)	865人 (941人)	1,284人 (1,319人)
大学	13.2%	19.6%
4,004人 61.0% (4,311人) (61.6%)	(13.4%)	(18.8%)
短大335人(354人) 5.1%(5.1%)		未定39人(32人)
その他40人(41人) 0.6%(0.6%)		0.6%(0.5%)

〈男子〉 卒業予定者 3,254人 (3,374人)

進学 <sup>*1</sup>	専修学校等 <sup>*2</sup>	就職 <sup>*3</sup>
2,075人 63.8% (2,192人) (65.0%)	295人 (296人)	863人 (876人)
大学	9.1%	26.5%
2,046人 62.9% (2,148人) (63.7%)	(8.8%)	(26.0%)
短大29人(38人) 0.9%(1.1%)		未定21人(10人)
その他0人(6人) 0.0%(0.2%)		0.6%(0.3%)

〈女子〉 卒業予定者 3,313人 (3,624人)

進学 <sup>*1</sup>	専修学校等 <sup>*2</sup>	就職 <sup>*3</sup>
2,304人 69.5% (2,514人) (69.4%)	570人 (645人)	421人 (443人)
大学	17.2%	12.7%
1,958人 59.1% (2,163人) (59.7%)	(316人)(8.7%)	(12.2%)
その他40人(35人) 1.2%(1.0%)		未定18人(22人)
		0.5%(0.6%)

(注) ・卒業予定者数に対する割合は、端数処理のため、各割合を合計しても100.0%にならない場合がある。

・\*1,\*2 就職進学者を含む。

・\*3 就職進学者を含まない。

## 富山県幼児教育推進連絡協議会 設置要綱

富山県教育委員会

## (目的)

第1条 幼児教育施設（幼稚園、保育所及び認定こども園をいう。以下同じ。）における幼児教育の質の向上を図る具体的な方策を検討するため、富山県幼児教育推進連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）を設置する。

## (所掌事務)

第2条 連絡協議会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 幼児教育施設の研修の充実に関すること。
- (2) 幼児教育の内容や指導方法に関すること。
- (3) 幼児教育センターの取組みの方向性、事業の在り方に関すること。
- (4) その他幼児教育の質の向上に関すること。

## (組織)

第3条 連絡協議会は、委員 20 名以内で組織する。

## (委員)

第4条 委員は、養成機関、市町村、幼児教育関係各種団体、小学校、保護者等の代表者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 委員の任期は 1 年とする。ただし、欠員が生じた場合の補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委員長及び副委員長)

第5条 連絡協議会に、委員長及び副委員長をそれぞれ 1 人置く。

2 委員長は、委員の互選によって選出する。

3 副委員長は、委員長が指名する。

4 委員長は、連絡協議会を代表し、会務を総括するとともに、会議の進行を司る。

5 副委員長は、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときに委員長の職務を代理する。

## (会議)

第6条 連絡協議会は、教育委員会が招集する。

2 教育委員会が必要と認めた場合は、連絡協議会に委員以外の者の出席を求めることができる。

## (特別委員)

第7条 連絡協議会に、必要に応じて学識経験者等の特別委員を置くことができる。

## (専門部会)

第8条 連絡協議会に特定の事項について意見を聞くため、部会を置くことができる。

2 専門部会は、連絡協議会が必要と認めた者をもって組織する。

## (事務局)

第9条 連絡協議会の事務局は、富山県幼児教育センターに置く。

## (その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、連絡協議会の運営に必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

## 附 則

この要綱は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

令和 2 年度 富山県幼児教育推進連絡協議会 委員名簿

(五十音順)

	氏名	役職等	備考
委員	石動 瑞代	富山短期大学 幼児教育学科 教授 (富山短期大学付属みどり野幼稚園長)	
	大島 智希	富山県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会代表 (会長代行)	
	風間 宣夫	富山県民間保育連盟会長	
	北 辰巳	射水市子育て支援課長	
	黒田 卓	富山県国公立幼稚園・こども園長会長	
	小島 伸也	富山県保育連絡協議会長	
	島田 好美	富山経済同友会教育問題委員会副委員長	
	白江 勉	富山県小学校長会長 (砺波市立出町小長)	
	高松 尚子	富山県保育士会長	
	竹井 博文	富山市こども保育課長	
	野田 武	全国認定こども園協会 富山県支部長	
	橋本 淳	富山県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会代表 (会長代理)	
	畠山 遼	富山県私立幼稚園・認定こども園協会長	
	原野 克憲	富山県小学校教育研究会長 (高岡市立戸出西部小長)	
	宮口 克志	市町村教育委員会教育長代表	
	宮田 伸朗	富山短期大学 学長	
	宮田 徹	富山国際大学 子ども育成学部 教授	
	若山 育代	富山大学人間発達科学部 准教授	

特別委員	無藤 隆	白梅学園大学名誉教授	
------	------	------------	--

事務局	伍嶋 二美男	教育長	
	坪池 宏	教育次長	
	朝倉 正	参事・企画調整室課長	
	久崎 みのり	子ども支援課長	
	近藤 智久	教育参事・小中学校課長 (富山県幼児教育センター長)	

## 富山県幼児教育推進連絡協議会

	市町村幼児教育推進リーダー育成部会	幼児教育施設訪問等研修部会	幼児教育・小学校教育接続部会
課題や部会設置の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼児教育の質の向上を図るために、訪問研修をさらに拡充する必要があり、地域の幼児教育推進の核となる人材の育成が求められている。</li> <li>●市町村や関係機関との連携体制を継続して整えることが大切である。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>◎推進リーダーの選出や育成研修の在り方についての検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問研修は、今後の要請増加への対応が必要であり、助言について視点の共有や質の向上が望まれる。</li> <li>●訪問研修の目的を明確にし、研修のスタイル、研修内容等、研修の在り方に工夫が求められている。</li> <li>●各団体や各部局毎に行っている研修について、他への公開や統合等、整理や見直しが必要である。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>◎幼児教育の質の向上を目指した訪問研修や研修の在り方についての調査、研究、検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼小の円滑な接続に向けた保育者と小学校教員の合同研修等の実施が少なく、相互の教育への理解がなかなか進まない。</li> <li>●幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりにした育ちの共有や指導の工夫等が求められる。</li> <li>●R元配布の「『わくわく・きときと』接続ガイド」の周知と活用が十分ではない。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>◎幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向け、「『わくわく・きときと』接続ガイド」の活用を含めた研修の在り方の調査、研究、検討</p>
検討内容	<p>&lt;推進リーダー育成研修の在り方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R2 推進リーダー育成研修の課題（内容、日程、研修方法、回数）の洗い出し</li> <li>・R3 推進リーダー育成研修の方向性の検討</li> <li>・推進リーダーの選出方法の検討</li> </ul>	<p>&lt;幼児教育施設訪問研修の在り方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問研修の目的や課題の明確化、成果や今後の方向性の検討</li> <li>・訪問研修について十分な理解と活用を得るための周知方法の検討</li> <li>・訪問研修時の助言の質の向上のための幼児教育アドバイザーハンドブック等の検討</li> </ul> <p>&lt;各種研修の見直しや精選&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体、各部局主催の研修の共通理解</li> <li>・各団体や各部局の研修の他への公開、統合等の方向性の検討</li> </ul>	<p>&lt;『わくわく・きときと』接続ガイドの活用について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R元作成「『わくわく・きときと』接続ガイド」の周知、活用の仕方の検討</li> </ul> <p>&lt;円滑な接続に向けての取組みや研修について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内実践事例の蓄積、県内、他県での取組み例の研究</li> <li>・取組みの課題や方向性の検討</li> </ul>
委員	<p>&lt;部会長1名、委員5名&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学教授等</li> <li>・市町村幼児教育担当者代表</li> <li>・幼児教育施設より園長等</li> </ul>	<p>&lt;部会長1名、委員7名&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学教授等</li> <li>・市町村幼児教育担当者代表</li> <li>・幼児教育施設より園長等</li> <li>・富山県総合教育センター幼児教育担当研究主事</li> </ul>	<p>&lt;部会長1名、委員6名&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学教授等</li> <li>・小学校教育研究会代表</li> <li>・幼児教育施設より園長等</li> <li>・教育事務所幼児教育担当指導主事</li> </ul>
予定開催	10月～	10月～	10月～



令和2年度幼児教育推進連絡協議会専門部会 委員名簿

(各部会・五十音順)  
(◎は部会長)

	役職等	氏名	備考
市町村幼児教育成育会推進	◎富山短期大学幼児教育学科 教授	石動 瑞代	
	・富山大学人間発達科学部附属幼稚園 副園長	竹内 静	
	・氷見市子育て支援課 副主幹	野手 ゆかり	
	・認定こども園いづみ幼稚園 教頭	原田 由美	
	・幼保連携型認定こども園若葉保育園 園長	南 真理子	
	・富山市こども保育課 主査	若林 正美	
幼児教育施設訪問等研修部会	◎富山国際大学子ども育成学部 教授	宮田 徹	
	・総合教育センター教育研修部 研究主事	東 早苗	
	・幼保連携型認定こども園やまむろこども園 園長	岡本 紀子	
	・幼保連携型認定こども園福野青葉幼稚園 園長	唐嶋 田鶴子	
	・堀川幼稚園 副園長	波岡 千穂	
	・高岡市子ども・子育て支援課 主幹	松崎 優子	
	・砺波市立東部保育所 所長	森 明代	
	・砺波市立太田認定こども園 園長	柳原 清美	
幼児教育統一小学校教育接続部会	◎富山大学人間発達科学部 准教授	若山 育代	
	・富山短期大学付属みどり野幼稚園 副園長	江尻 いづみ	
	・黒部市立さくら幼稚園 園長代理	菊地 真衣子	
	・射水市立新湊小学校 校長	城岡 恭子	
	・東部教育事務所 指導主事	田近 雅美	
	・幼保連携型認定こども園津沢こども園 園長	中西 千賀子	
	・西部教育事務所 指導主事	南 明子	



## 富山県幼児教育の取組み

令和元年度

令和2年度

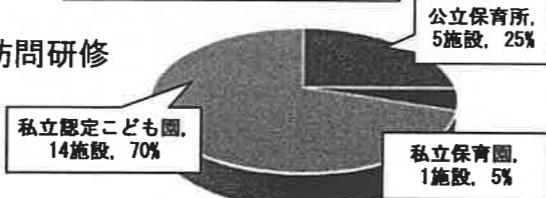
## 関係機関等との連携・体制づくり

- ① 幼児教育県関係部局連絡会議（総合政策局担当者、厚生部担当者等…年8回実施）
- ② 幼児教育市町村担当者連絡協議会（市町村担当者、総合政策局・厚生部担当者等…年3回開催）
- ③ 富山県幼児教育推進連絡協議会準備委員会（関係団体代表、市町村代表者、大学教授等…年2回開催）

## 幼児教育の質の向上

- (1) 幼児教育スーパーバイザー・アドバイザーによる訪問研修  
 　・スーパーバイザー1名、アドバイザー3名  
 　・20施設に実施（国公立幼稚園を除く園・所対象）
- (2) 幼児教育・小学校教育の円滑な接続  
 　○ 幼児教育・小学校教育接続カリキュラムの改訂  
 　　・「『わくわく・きときと』接続ガイド」の作成・配布（県内幼児教育施設、小学校等）  
 　○ 地区別幼児教育・小学校教育接続研修会  
 　○ 「小学1年生安心子育て支援事業『連携推進校区事業』」
- (3) その他  
 　○ 「幼児教育・小学校教育合同フォーラム」の開催（10月21日…354名参加）  
 　　・白梅学園大学 無藤 隆教授による講演  
 　　・幼児教育・小学校教育関係者によるパネルディスカッション  
 　○ 安心子育てリーフレット「きときと1年生」の配布（年長児保護者等）

## 施設別訪問数及び割合



## 準備委員会での主な意見

## &lt;訪問研修・研修について&gt;

- ・訪問研修を実施することで、新たな気付きがあり励みとなった。訪問研修のよさは幼児教育の質の向上のために自由に話し合えるところにある。
- ・訪問研修のアドバイザーとして、どなたが来られても（勤務する施設の種類が異なる場合等）同じ視点等で助言を行ってもらいたい。助言の質を高めるための研修が必要である。
- ・訪問研修については、園や所に応じた研修の形態、自立的に学び合う園内の仕組みづくりを目指す研修内容、乳児期を踏まえた助言等、研修の在り方や内容をさらに検討していく必要がある。
- ・保育者は、所属団体以外で実施されている研修についてはあまり知らないのが現状である。施設種や団体を超えた研修の公開や重ね合わせ等も含め、県全体の研修についての整理や見直しが望まれる。

## &lt;保育者の質の向上&gt;

- ・訪問研修を通して、園や所の参加者も、アドバイザーや推進リーダー等の助言者も共に向上できるものとなってほしい。
- ・推進リーダーは、人を育てるという観点で団体や行政が選び、幼児教育を豊かにしていくために、研修を通して育っていくことが大切である。

## &lt;幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続&gt;

- ・小学校側が幼児教育での育ちをしっかり理解してほしい。また、幼児教育側に小学校教育についても教えてもらいたい。そうすることが幼児教育の向上にもつながる。
- ・幼児教育と小学校教育の状況や環境を理解するためには、合同研修や意見交換会等、顔を合わせて話し合うことが大切である。

## 関係機関等との連携・体制づくり

第1回協議会開催 8月26日

## 富山県幼児教育推進連絡協議会(20名)年2回

（養成機関、幼児教育関係団体、市町村、小学校教育、保護者団体等の各代表）  
 　・幼児教育の質の向上を図る具体的な方策の検討

## 専門部会（年2～3回）



## ① 幼児教育県関係部局連絡会議の継続

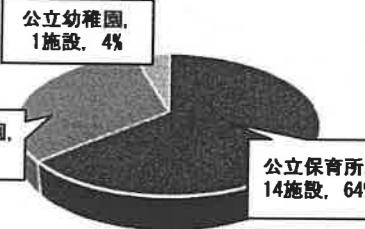
## ② 幼児教育市町村担当者連絡協議会の継続（2回開催予定）

## 幼児教育のさらなる質の向上

## 施設別訪問数及び割合

## (1) 訪問研修の実施【参考資料1】 8月以降実施

- 拡** ・22施設実施予定（国公立幼稚園を含む全園・所対象）



## (2) 幼児教育スーパーバイザー・アドバイザーの設置

- 拡** ・スーパーバイザー1名、アドバイザー5名（2名増員）

## (3) 市町村幼児教育推進リーダーの育成（20名）【参考資料2】

- 新** ・市町村幼児教育推進リーダーの推薦（各地区に幼児教育のリーダーを育成）  
 　・市町村幼児教育推進リーダー育成研修の実施：5回

## &lt;研修内容&gt;

- ・支援編…大学教授等講義（1回）
- ・理論編…既存の研修や講座の受講（2回）
- ・実践編…アドバイスの在り方の研修（1回）  
 　訪問研修への参加（1回）

県内4地区で実施  
 　12月1日（新川）、2日（高岡）  
 　15日（砺波）、17日（富山）に実施予定

## (4) 幼児教育・小学校教育の円滑な接続

- 地区別幼児教育・小学校教育接続研修会の開催（保育者と小学校教員の合同研修）  
 　・幼小接続カリキュラム改訂版「『わくわく・きときと』接続ガイド」の活用に向けた講義  
 　・「幼児期の終わりまでに育つてほしい姿」を手掛かりにした指導の相互理解

○ 「小学1年生安心子育て支援事業『連携推進校区事業』」 13小学校区で実施予定  
 　における保育者と小学校教員との合同研修会の実施

- 拡** ・小学校区で、小学校と幼児教育施設が合同での研修会を実施  
 　・小学校だけでなく、幼児教育施設からの要望による研修会も可能に

## (5) その他

- 「幼児教育・小学校教育合同フォーラム」の開催  
 　・講演：「非認知能力育成の実際と幼児教育・小学校教育の接続」（仮）  
 　・パネルディスカッション：「幼児教育・小学校教育の学びや育ちをつなぐ」（仮）

7月末開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

## ○ 家庭教育との連携

- 拡** ・安心子育てリーフレット（就学前の子供たちにおける非認知能力等の育成のための家庭の取り組みや関わりについて啓発する）の作成、配布（年長児の保護者等）

リーフレット作成委員会4回開催（5/29、6/26、7/27、8/24）



参考

今後の教育委員会等の日程について

○ 令和2年9月29日(火) 13:00 予定  
教育委員会 (県民会館 611号室)

